

2022  
 3|31

第10号

1面	理事長挨拶
2～3面	令和3年度 全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議
3面	第3回福祉用具専門相談員研究大会開催迫る！
4面	ブロック活動報告

※連載「知識PLUS」「住宅改修事例」は休載させていただきます。

## 令和4年度に向けて——理事長挨拶

# 介護保険制度における福祉用具貸与・販売 種目のあり方に係る議論と当会の役割

令和3年度は、コロナ禍を乗り越え、社会経済活動の再始動が期待されていきました。しかしながら、変異株による感染急拡大によって、状況は一変しました。第6波こそ、一旦の収束は見たものの、まだまだ予断を許さない状況の中、1年を振り返り、また新年度に向けて本会岩元理事長より、皆様にご挨拶申し上げます。



岩元 文雄 氏  
 (いわもと ふみお)  
 本会理事長

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会理事長の岩元でございます。正会員・FJC会員・賛助会員並びに理事・役員の皆様には、平素より、当協会の活動にご協力、ご支援を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

令和3年度を振り返りますと、今度こそその思いで、コロナ禍の収束が見え始めた矢先、オミクロン株によってその期待は打ち砕かれ、かつてないスピードで感染急拡大の局面

を迎え、全国的な「まん延防止等重点措置」の適用を受けることとなりました。第6波は一旦の収束は見ましたが、介護・医療等の現場を担う会員の皆様におかれましては、社会インフラとしてのサービス継続が責務であることを踏まえ、ご自身の健康と安全を念頭に引き続きご尽力のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、令和3年度介護報酬改定で「今後の課題」として示された「福祉用具貸与・販売種目のあり方」については、令和4年2月17日に開催された第1回検討会を皮切りに議論が始まりました。示された論点に沿って幅広い意見集約が行われ、引き続き本格的な議論が展開されることとなります。本会は、令和3年度の老健事業でこの検討会での議論に資す

る調査研究事業を手掛けました。この事業では、貸与の仕組みが機能しているからこそ、状態像等が変わっても「適時・適切」な福祉用具サービスが提供されていることをモニタリング等の実態から詳らかにすることが求められました。

ふくせんが行った老健事業の調査研究の成果が、真にあるべき制度の在り方を議論する場の一助となることを願っております。本事業にご協力をいただいた全ての皆様に、この場を借りて御礼申し上げますとともに、議論の行方を注目いただきたくお願い申し上げます。